

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24595報)

2023年4月8日 14時40分

内閣総理大臣、原子力規制委員会、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 田南 達也
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [4月8日11時00分現在] ・サブドレン等 分析結果 [採取日 4月7日] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 4月7日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 4月7日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 4月5日、7日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 3月13日、4月7日] ・地下貯水槽(周辺観測孔) 分析結果 [採取日 4月7日] ・地下貯水槽(ドレン孔・検孔・海側観測孔) 分析結果 [採取日 4月7日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>【公表区分: その他】</p> <p>※添付の(有り)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2023年4月8日 11:00現在

2023年4月8日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.6 m ³ /h CS系: 1.4 m ³ /h	給水系: 0.0 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 2.1 m ³ /h	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 16.4 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 14.7 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 15.7 °C	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 24.4 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 27.4 °C	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 20.0 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 17.6 °C	
原子炉格納容器 内温度	HMH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 15.8 °C HMH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 15.7 °C	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 24.8 °C SUPPLY AIR D/W COOLER FMH2-16B (TE-16-114G#1): 24.8 °C	PCV温度 (TE-16-002): 17.3 °C 格納容器空層機状空気温度 (TE-16-114F#1): 18.1 °C	
原子炉格納容器 圧力	0.41 kPa g	3.91 kPa g	0.48 kPa g	
窒素注入流量 ※3	RPV (RVH/A): - Nm ³ /h (RMH/B): 15.43 Nm ³ /h (JP-A): 15.43 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	RPV-A: 6.60 Nm ³ /h RPV-B: 6.47 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	RPV-A: 8.35 Nm ³ /h RPV-B: 7.80 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	
原子炉格納容器 力大管理システム 排気流量	19.6 m ³ /h	14.47 Nm ³ /h	22.76 Nm ³ /h	
原子炉格納容器 水蒸気濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol%	A系: 0.05 vol% B系: 0.07 vol%	A系: 0.12 vol% B系: 0.11 vol%	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 1.03E-03 検出限界値 4.16E-04 B系: 指示値 1.06E-03 検出限界値 3.47E-04	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.2E-01 B系: 指示値 ND 検出限界値 1.2E-01	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 B系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01	
使用済燃料プールの 水温度	20.6 °C	※6	※5	※5
FPC 対排気炉の 水位	3.48 m	※6	2.79 m	670 × 100mm

【計測に関する事項】
※1: 原子炉格納容器内での測定値を報告する。(水蒸気濃度が過剰な場合は、計測精度によりマイナスイラスト表示される場合があります。)

※2: 原子炉格納容器内での測定値を報告する。(放射能濃度が過剰な場合は、計測精度によりマイナスイラスト表示される場合があります。)

※3: 放射能濃度の測定値は、原子炉格納容器内の測定値を報告する。(放射能濃度が過剰な場合は、計測精度によりマイナスイラスト表示される場合があります。)

※4: 放射能濃度の測定値は、原子炉格納容器内の測定値を報告する。(放射能濃度が過剰な場合は、計測精度によりマイナスイラスト表示される場合があります。)

※5: 放射能濃度の測定値は、原子炉格納容器内の測定値を報告する。(放射能濃度が過剰な場合は、計測精度によりマイナスイラスト表示される場合があります。)

※6: 放射能濃度の測定値は、原子炉格納容器内の測定値を報告する。(放射能濃度が過剰な場合は、計測精度によりマイナスイラスト表示される場合があります。)

【留意事項】
本報告書は、福島第一原子力発電所の廃炉作業において、廃炉の使用目的を達成するために必要と認められる範囲で、正しく測定されていると判断されている。この報告書の信頼性を保証するものではありません。また、本報告書の信頼性を保証するものではありません。本報告書の信頼性を保証するものではありません。本報告書の信頼性を保証するものではありません。

2023年4月8日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所 燃料循環推進カンパニー

サブドレン等 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機サブドレン	2023/04/07 06:48	< 6.5E+00	< 4.6E+00	8.5E+01
2号機サブドレン	採取中止	—	—	—
3号機サブドレン	2023/04/07 07:09	< 5.1E+00	< 5.5E+00	< 4.8E+00
4号機サブドレン	2023/04/07 07:31	< 4.8E+00	< 4.2E+00	< 4.3E+00
5号機サブドレン	2023/04/07 08:45	< 4.3E+00	< 4.6E+00	< 4.6E+00
6号機サブドレン	2023/04/07 08:58	< 3.4E+00	< 5.1E+00	< 4.9E+00
構内深井戸	—	—	—	—

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (< : 小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・ $0.0E+0$ とは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・採取中止理由：工事作業干渉のため

4/13

2023年4月8日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2023/04/07 07:31	< 4.8E+00	< 4.2E+00	< 4.3E+00
プロセス主建屋北東	2023/04/07 06:48	< 3.4E+00	< 4.6E+00	< 3.4E+00
プロセス主建屋南東	2023/04/07 06:54	< 4.2E+00	< 4.2E+00	< 4.8E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2023/04/07 07:15	< 4.4E+00	< 5.5E+00	< 5.6E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2023/04/07 07:05	< 4.1E+00	< 3.9E+00	2.7E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2023/04/07 07:10	< 4.8E+00	< 5.5E+00	< 4.8E+00
サイトバンカ建屋南東	2023/04/07 07:00	< 4.8E+00	< 4.6E+00	< 3.8E+00

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<)：小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.OE±Oとは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

2023年4月8日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進センター

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2023/04/07 08:00	< 3.1E+00	< 4.4E-01	2.7E+00
物置場排水路	2023/04/07 08:10	3.5E+00	< 4.6E-01	7.9E-01
K排水路	2023/04/07 06:00	7.4E+00	< 4.6E-01	4.3E+00
BC排水路	2023/04/07 06:00	< 3.3E+00	< 5.5E-01	< 5.8E-01
D排水路	2023/04/07 08:05	< 3.1E+00	< 7.0E-01	< 5.8E-01
5,6号機排水路 ^{※1}	—	—	—	—

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O、OE±Oとは、 $O.O \times 10^{40}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読み。

・採取当日の降雨量は5.5 mm

・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。

※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

2023年04月08日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目																		
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Cs-60 (Bq/L)	その他放射核種	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)									
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-9 ※1	2023/04/05 07:18	2.6E+01	6.8E+02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1E+01
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- 検出限値(半減期: H-3(約12年), Mn-54(約310日), Cs-60(約30日), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年))

- 不番号 (<: 小じり) は、検出限未満 (ND) を表す。

- 測定対象外および検出中止の項目は「-」と記す。

- O.E.E.Oとは、 0.0×10^{40} であることを意味する。

- H-3以外の項目は、 3.1×10^{-4} Bq/Lで3.1, 3.1×10^{-3} Bq/Lで31, 3.1×10^{-2} Bq/Lで311, 3.1×10^{-1} Bq/Lで3111と表示。

- H-3以外の項目は、 0.01 ppmで0.01, 0.1 ppmで0.1, 1 ppmで1と表示。

※1 No.1-9は、採取日による結果であるため、 γ 線能率は実測値です。全βは参考値としての値に測定。

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	その他の観出核種			Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)
						Ru-106 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)			
1,2号観測ポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-5 ※1		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	2023/04/05 07:32	6.0E+02	2.0E+03	< 2.5E-01	< 2.6E-01	< 2.8E+00	< 9.1E-01	< 2.9E-01	1.1E+01	-	-
No.2-7	2023/04/05 07:27	3.5E+02	1.8E+03	< 2.8E-01	< 3.5E-01	< 3.0E+00	< 1.2E+00	< 3.8E-01	3.0E+00	5.7E+02	-
No.2-8		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2,3号観測ポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-4		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-5 ※1		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3,4号観測ポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

-核種別の半減期: H-3(約12年), Mn-54(約10日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sr-90(約28年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

-不符号 (<: 小値) は、検出限界未満 (MD) を表す。

-測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

-O.OE+Oとは、O.Ox10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1x10¹で31、3.1E+00は3.1x10⁰で3.1、3.1E-01は3.1x10⁻¹で0.31と読み。

-H-3以外出展に付添はせず。

※1 No.2-5、No.3-5は、検水票による採取であるため、Y測定は実施せず。全βは参考値として添付に添付。

8/13

2023年4月8日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目						Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (ppm)
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	塩素 (ppm)			
No.0-1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.0-1-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.0-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.0-3-1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.0-3-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.0-4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1	2023/04/07 07:30	1.6E+04	< 2.5E-01	< 2.4E-01	< 2.3E+00	< 8.9E-01	< 3.4E-01	9.8E-01	—	—
No.1-6	2023/04/07 07:15	1.5E+06	< 8.2E+01	< 9.3E+01	< 3.7E+03	< 2.0E+03	9.6E+03	4.3E+05	—	—
No.1-B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.4E+01
No.1-9※1	2023/04/07 07:50	3.0E+01	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-11	2023/04/07 07:45	2.1E+02	< 2.6E-01	< 2.8E-01	< 3.8E+00	< 1.4E+00	< 4.0E-01	1.1E+01	—	—
No.1-12	2023/04/07 07:20	3.9E+02	< 3.2E+00	< 1.1E+00	< 1.4E+01	< 7.2E+00	4.0E+00	1.6E+02	—	—
No.1-14	2023/04/07 07:10	2.2E+04	< 5.2E-01	< 3.7E-01	< 4.8E+00	< 2.0E+00	7.9E-01	2.2E+01	—	—
No.1-16	2023/04/07 07:25	4.1E+04	< 3.3E-01	< 3.1E-01	< 4.2E+00	< 1.9E+00	5.8E-01	3.3E+01	—	—
No.1-17	2023/04/07 07:35	1.3E+05	< 3.9E-01	< 2.7E-01	< 4.5E+00	< 1.8E+00	< 5.4E-01	4.2E+00	—	—

※1 核種の半減期：Mn-54(約10日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不検出 (<: 小文字) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.OE±Oとは、0.0×10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 No.1-9は、検水器による採取であるため、精度は未確定です。全βは参考値としてご留意ください。

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目							検出濃度 (ppm)
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	
1,2号観測孔のポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-
No.2		-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-2		-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-3		-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-5 *2		-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	2023/04/07 08:00	6.8E+02	< 2.8E-01	< 4.3E-01	< 3.7E+00	< 1.3E+00	< 3.5E-01	3.5E+00	-
No.2-7	2023/04/07 08:05	9.5E+02	< 3.7E-01	< 3.2E-01	< 6.4E+00	< 3.1E+00	4.6E+00	1.8E+02	5.1E+02
No.2-8		-	-	-	-	-	-	-	-
2,3号観測孔の 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-
No.3		-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-2		-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-3		-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-4		-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-5 *2		-	-	-	-	-	-	-	-
3,4号観測孔の 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-

-- 検出限の半減期: Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約70日), Sr-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

- 不検出 (<: 小なり) は, 検出限未満(ND)を表す。

- 測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

- O.E.H.Oとは, 0.0×10^{10} であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

*2 No.2-5, No.3-5は, 検水票による採取であるため, 内容は記載せず。全βは参考値としての値に測定。

2023年4月8日

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・H-3・γ)

試料名称	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2023/03/13 07:53	1.3E+01	< 3.2E-01	< 5.9E-01	< 7.6E-01
1F 6号機取水口前	2023/03/13 08:08	< 1.4E+01	1.9E+00	< 3.6E-01	< 3.7E-01
1F 物揚場前	2023/03/13 06:58	< 1.4E+01	< 1.7E+00	< 3.7E-01	2.9E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2023/03/13 06:53	< 1.4E+01	6.0E+00	< 2.8E-01	9.3E-01
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2023/03/13 06:48	< 1.4E+01	1.3E+01	< 3.0E-01	4.0E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2023/03/13 07:25	1.2E+01	< 3.1E-01	< 6.9E-01	< 8.1E-01
1F 港湾口 (T-0)	2023/03/13 06:56	1.6E+01	< 3.1E-01	< 2.9E-01	< 3.0E-01
1F 港湾中央	2023/03/13 06:47	1.9E+01	< 1.7E+00	< 2.4E-01	< 2.6E-01
1F 港湾内東側	2023/03/13 06:50	1.7E+01	< 1.8E+00	< 3.1E-01	< 3.1E-01
1F 港湾内西側	2023/03/13 06:45	2.0E+01	< 1.8E+00	< 2.7E-01	4.5E-01
1F 港湾内北側	2023/03/13 06:42	< 1.3E+01	< 1.7E+00	< 3.3E-01	3.7E-01
1F 港湾内南側	2023/03/13 06:53	< 1.3E+01	< 1.7E+00	< 3.6E-01	< 3.8E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	2023/03/13 07:53	< 1.3E+01	< 3.5E-01	< 2.7E-01	< 2.9E-01
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	2023/03/13 07:33	1.5E+01	< 3.4E-01	< 3.3E-01	< 2.8E-01
1F 港湾口東側 (T-0-2)	2023/03/13 07:00	1.3E+01	< 3.1E-01	< 2.9E-01	< 2.9E-01
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	2023/03/13 07:12	1.8E+01	< 3.4E-01	< 2.4E-01	< 3.2E-01
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	2023/03/13 07:07	< 1.3E+01	< 3.4E-01	< 2.5E-01	< 3.8E-01
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不符号 (< : 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

・T-0-1, T-0-1A, T-0-2, T-0-3A, T-0-3のH-3以外は既にお知らせ済み。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、H-3, Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2023年4月8日

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2023/04/07 08:34	—	< 8.4E-01	< 5.4E-01
1F 6号機取水口前	2023/04/07 08:24	1.6E+01	< 2.2E-01	4.4E-01
1F 物揚場前	2023/04/07 07:55	1.7E+01	< 3.9E-01	< 3.4E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2023/04/07 07:50	1.7E+01	< 3.8E-01	1.4E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (返水壁前)	2023/04/07 07:45	1.7E+01	< 3.3E-01	2.1E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2023/04/07 06:33	1.3E+01	< 8.0E-01	< 6.5E-01
1F 港湾口 (T-0)	2023/04/07 06:43	1.5E+01	< 2.5E-01	< 3.4E-01
1F 港湾中央	2023/04/07 06:37	< 1.3E+01	< 2.7E-01	3.1E-01
1F 港湾内東側	2023/04/07 06:40	< 1.2E+01	< 3.6E-01	< 3.4E-01
1F 港湾内西側	2023/04/07 06:35	< 1.2E+01	< 3.5E-01	4.3E-01
1F 港湾内北側	2023/04/07 06:32	1.9E+01	< 2.7E-01	3.9E-01
1F 港湾内南側	2023/04/07 06:46	1.5E+01	< 3.4E-01	< 3.3E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不符号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の概要については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2023年4月8日

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

地下貯水槽(周辺観測孔)分析結果(全β)

採取地点	採取日時	分析項目	
		全β (Bq/L)	
地下貯水槽 周辺観測孔 (i~iii)	A1	—	
	A2	—	
	A3	—	
	A4	—	
	A5	—	
	A6	—	
	A7	2023/04/07 08:01	< 2.0E+01
	A8	—	—
	A9	—	—
	A10	2023/04/07 07:56	< 2.0E+01
	A11	—	—
	A12	—	—
	A13	2023/04/07 07:50	< 2.0E+01
	A14	—	—
	A15	—	—
	A16	2023/04/07 07:47	< 2.0E+01
	A17	—	—
	A18	—	—
	A19	2023/04/07 07:40	< 2.0E+01

・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・ $0.0E\pm 0$ とは、 $0.0\times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

2023年4月8日

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

地下貯水槽（ドレン孔・検知孔・海側観測孔）分析結果（全β）

採取地点		採取日時	分析項目	
			全β (Bq/L)	
地下貯水槽 (ドレン孔水)	i	北東側	—	
		南西側	—	
	ii	北東側	—	
		南西側	—	
	iii	北東側	—	
		南西側	2023/04/07 07:37	4.0E+01
	vi	北西側	4/6 採取中止	—
		南東側	4/6 採取中止	—
地下貯水槽 (漏えい検知孔水)	i	北東側	—	
		南西側	—	
	ii	北東側	—	
		南西側	—	
	iii	北東側	2023/04/07 07:23	4.5E+03
		南西側	2023/04/07 07:32	3.4E+04
海側観測孔	②	—	—	
	⑦	—	—	
	⑧	—	—	

- ・ 不等号 (< : 小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・ 測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
- ・ $0.0E \pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
- ・ 採取中止理由：水量が確保できないため。